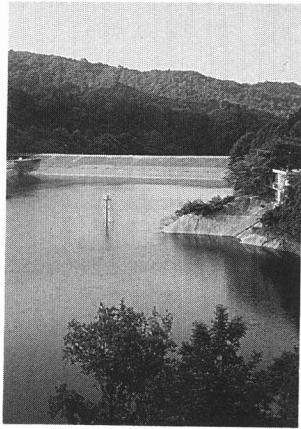


◎ 堤

名称	名 称	吳坪堤	笹沢堤	大貝沢堤	湯沢堤	館ヶ沢堤
所在地	所在地	字吳坪山	字笹沢山	字大貝沢山	字湯沢山	字館ヶ沢山
記 事	記 事	緊急時（防火用水）として構築	昭和三十八年改築	大正十四年以降廃止		



二岐ダム

◎ 二岐ダム

佐賀瀬川は、洪水時には川が氾濫破堤し、沿岸耕地は勿論、公共施設その他人家まで甚大なる被害を与えていた。

この災害を防止するため、佐賀瀬川上流にダムを築造して洪水を抑留し洪水調節を行い、また二次的には非洪水期に流水を貯留して、灌漑用水にも利用する目的で佐賀瀬川上流「新鶴村字一ノ渡戸」地内に、堤高三〇米・貯水量・八四四、五五〇立方米のアースダムが築造された。

・昭和三十六年度着工、昭和四十四年度完成

・総事業費 七〇八、〇〇九、〇〇〇円

・二岐ダム築造による水没地名

穂谷澤口・上左澤・一ノ渡戸・上小森山（一部）・若林（一部）
 坂東（一部）・下屋敷（一部）・中屋敷（一部）
 伊谷澤口（一部）
 松曾根（一部）

アースダム

土を主材料とするダム。ダムの中で最も古い歴史をもっている。数において最も多く世界の大ダムの五〇％、日本のダムの七〇％がアースダムである。（土堰堤）

『福島県鶴沼川防災ダム連合協議会』より抜粋